

# だいしや

NO. 494  
2019年12月 2日  
発 責 渡辺 一則  
編 責 編集委員会

## ビリョクだけどもリョクじゃない

11月24～25日、国労フクシマ交流会が郡山市を中心に開催されました。この取り組みは、東日本大震災時に発生した福島第一原発事故による福島県の現状やの福島第一原発の状況把握を進め、原発事故を風化させないために開催され、今年で7回目となっています。

国からの要請を受け、JR東日本は、来春に常磐線を全面復旧させることを決定しています。放射線量が高く、帰還困難区域となっている場所を通過することから、放射線被害も危惧される中での復旧です。

オリンピック、パラリンピックに合わせて、福島はもう復興したことを全世界に伝えたい意図があると思いますが、現状はどうなっているのかを確認し、原発を考えあつていくことが必要です。

### 低下はしているものの

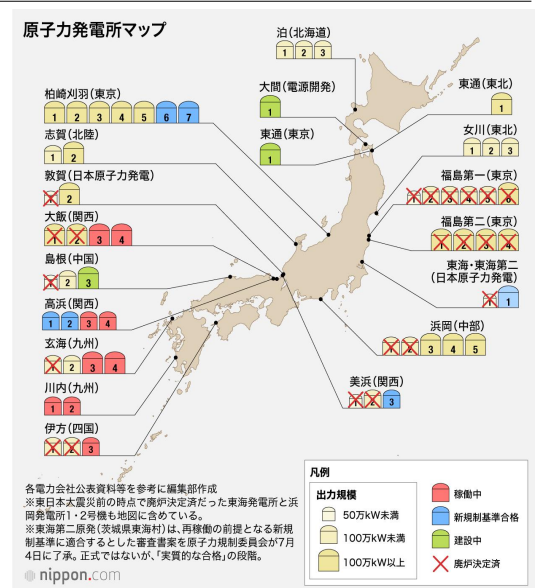
23日は、現地視察という事で、浪江町や双葉町を訪れ、現状を見ました。放射線量は昨年より少しずつ低下してきてはいましたが、今でも0.3  $\mu$ Sv以上を示していました。帰還困難区域では、7  $\mu$ Svを示す場所もあり、とても帰還できる状況ではありません。

そういう状況でも故郷に戻りたいと避難指示解除区域には年配者を中心に地元に戻る方もいますが、8年経過しても福島県内の避難者1万1千人、県外避難者が3万1千人と全体で4万2千人が避難生活を余儀なくされています。（避難場所に永住を決めた世帯は避難者数から除かれるようになったため昨年までより人数が大きく減少されています）

全面復旧が決まった常磐線では、駅舎の建て替えが行われていました。

水戸支社では、線量計などの配布も行われていましたが、仙台支社では、支社内に危険なところはないとして放射線量も図ろうとはしませんでした。

幹総でも新幹線の埃やフィルターなど回収業者が持って行かない事態となり、ガス庫に保管されているにもかかわらず、線量は図らないとする仙台支社の対応が思い出されます。その後、ガス庫が満杯になることから新しい保管庫も設置しています。



### 再稼働すれば核のゴミが増えるだけ

### 風化させないために

24日の学習会では、高校生平和大使の赤沼優希さんの報告、そして福島県教職員組合の日野彰さんから学校現場の状況が報告されています。2人とも、風化と再稼働への不安が語られていましたが、運動の継続が必要であることが述べられていました。

宮城県でも、女川原発2号機が、原子力規制委員会の審査に合格したことが報道されています。村井知事は、慎重に判断するとは言っていますが、12万人の署名が活かされることなく住民投票条例案が否決されたことから、予断を許さない状況です。しかし、高校生平和大使が言うように、「ビリョクだけどもリョクではない」ことを広め、すべての核施設が無くなるまで運動しなければならないことを全体で確認し、今年のフクシマ交流会は、終了しました。



高校生平和大使の赤沼さん

## 気になる話題 / ワタミがブラック企業からまさかのホワイト企業になるまでの全過程

「ワタミ＝ブラック」を印象付けたのは2008年に起きた入社3か月目の社員の自殺、および2012年の「神奈川労働者災害補償保険審査官」による「長時間労働による精神障害が原因」に労災認定からです。

そして、2013年に創業者である渡邊美樹元会長が参議院議員に当選したことから「公人」となり、批判が一気に集中します。「国会議員になる人間が経営していた会社がここまでブラックとはけしからん!」「いくら叩いてもいい」サンドバッグにワタミはなっていました。

全然謙虚ではなく「24時間働けてありがたいだろう」という歪んだ考えもあり、批判を受け、ワタミの業績は悪化します。

ブラック企業大賞受賞後の、2013～2014の2年間で、2期連続の巨額最終赤字を計上し、320億円だった純資産が、わずか2年間で102億円まで減り、資本が3分の1になってしまいます。

ワタミはいくつかの居酒屋を出店していましたが、特に売り上げが悪化したのが、居酒屋「和民」居酒屋「わたみんな家」でした。そう「ワタミ」という名前がつく居酒屋、ワタミが経営しているとわかるお店は、その時点でお客から拒否反応が出て、選択肢から外れます。「ワタミ」という響きそのものが、利用者にとっては嫌悪感を与えるものになってしまったのです。

実は、ここ最近、ワタミ株式会社の業績が急回復しています。

本業の居酒屋事業に限ると

2016年 △1億 900万円 (赤字)

2017年 5億2500万円 (黒字)

赤字から黒字へ、完全に復活しています。



いうまでもなく、過去のワタミは、

- ①長時間労働 (夜勤含む)
- ②所定の休憩時間が取得できない
- ③有給休暇が取得できない
- ④休日出勤の強要
- ⑤サービス残業 の「奴隷フルコース」でした。



社員は奴隷として扱われていた理由として、ワタミには労働組合がありませんでした。有志の社員が団結しようにもワタミ側が圧力をかけて阻止します。ようやく労働組合が結成され (ワタミが圧力をかけなくなり)、経営陣と対等に話し合いができるようになりました。

ワタミメンバーズアライアンス委員長である亀本伸彦氏は、労組が発足した頃をこう振り返る。「ブラック批判で次々に社員が辞めていくのをつなぎとめたかった。同僚3人で相談するところから始め、労組を結成して経営者と話し合いの場をつくることができました」

労働組合の発足で、17年には賃金ベースアップ、19年に勤務間インターバル制度の導入を実施するなど、労働条件の改善は進んだ。

「ワタミ」という響きが完全にマイナスイメージとなっていたため、「和民」「わたみんな家」「坐・和民」などの「ワタミ」という名前が入っているお店を、別の名前のお店に変えて行きます。いわば「ワタミ隠し」です。具体的には既存店舗を「三代目鳥メロ」と「ミライザカ」に変えたことも回復の一因でした。(Yahoo!ニュースから引用)

### ○今後の日程

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| 12月 4日 | 支部集会 (幹総北会議室)      |
| 12月 6日 | 台車科転入者分会歓迎会 (広瀬の蔵) |
| 1月10日  | 支部旗開き (利府コミ)       |
| 1月11日  | 地本春闘討論集会 (法華クラブ)   |
| 1月12日  | 東日本本部マラソン大会 (皇居)   |
| 1月30日  | 第38回定期分会大会 (利府コミ)  |